

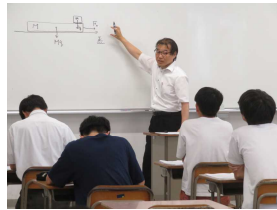
夏季休業中の補習

今年の夏も補習は、前期と後期で行われました。前期補習は七月二十二日(月)から、後期補習は八月十九日(月)から、どちらも期間は一週間でした。実施された補習は前期が14講座、後期が10講座でした。補習受講者は延べ人数で368人でした。29回生は平均二科目半を受講したことになります。

また、図書室は当初、補習のない期間は閉館となっていました。「開館してほしい」という29回生みなさんの声に添えて、お盆の期間を除いて8時半から18時まで開館しました。毎日30名を超える29回生が利用しました。

- 前期補習の開講講座 7月22日(月)～26日(金)
- ①現代文 ②古典 ③公共倫理 ④歴史総合 ⑤数学(文系)
 - ⑥数学(理系) ⑦化学(理系) ⑧化学基礎
 - ⑨生物(理系) ⑩物理中心(理系) ⑪英語基礎
 - ⑫英語標準 ⑬英語発展 ⑭情報
- 後期補習の開講講座 8月19日(月)～23日(金)
- ①現代文 ②古典 ③地理 ④数学(文系)
 - ⑤数学(理系) ⑥数学(共通テスト対策)
 - ⑦化学(理系) ⑧英語基礎 ⑨英語標準
 - ⑩英語発展

総長先生の物理特別補習



今年の夏季補習の最大の特徴は、草部総長先生が物理を担当してくださいましたこと。四年前には附属に二人の博士号を持つ先生がいらつしやいましたが、今はいらつしやらなくなりました。博士であり、学問の前線で研究をされている草部先生による補習は、29回生にとって貴重な受験勉強の機会でした。受講した二人の感想を掲載します。

物理の神

二組 佐野 正悟 さん

僕は、受験で物理を使う予定はありません。草部総長先生が担当されるということに惹かれて申し込みました。事前に配布されたプリントには「大阪大学・東京大学参照」と書かれていて、ビビりました。物理が得意ではないので、問題もあまり分かりませんでした。総長先生の解説がすごく丁寧で、理解へと繋げることができました。受験物理の全体像や良い勉強法なども教えてもらいました。本当に質の高い学習ができました。ありがとうございます。

物理補習を受けて

四組 川崎 絢未 さん

夏季の物理補習は草部総長先生が担当してくださいました。補習では東京大学・大阪大学などの難関国立大学の入試問題に挑戦しました。さらに、受験勉強の方法についても教えてください、大変実りのある時間となりました。ハイレベルな問題を解けるか不安でしたが、丁寧な解説で理解しやすく、苦手な範囲が克服できました。草部総長先生、本当にありがとうございました。

NHK杯全国放送コンテスト

夏休み前にした七月十九日(金)に全校集会が行われました。全校集会に先だって、放送・映像文化部の表彰伝達とNHK杯全国大会出場の日に行われました。

壮行会では、顧問の渡邊先生が上岡さんの活動を紹介されて、その後、上岡さんが挨拶をしました。

なお、全国大会は七月二十二日(月)から二十五日(木)まで東京で行われ、上岡さんは、アナウンス部門で奨励賞、ラジオドキュメント部門で入選を果たしました。全国大会での健闘を讃えるところにも29回生みんな喜びたいと思います。



上岡さんの紹介

放送・映像文化部顧問 田中 亜弥 先生

例年より29回生からの入部が少なく、一人ひとりにかかる負担が大きかったと思います。それでも上岡さんは、各大会に向けて基本を大切に、活動日以外も部室に来て努力を重ねました。また、各地区主催の研修会にも積極的に参加し、他校の部員と情報交換をすることで、自身の練習に繋げられました。専門的に指導できる顧問がいなくて、自身の練習にすることができ、自分から地道に取り組む、全国大会への切符を勝ち取りました。

東京へ向かう日、脱線事故により北陸新幹線での移動となりました。金沢から約二時間半、立ったまま東京へ。疲れがピークに達する中でも研修会に参加し、「伝わる読み」を目指して練習に励んでいました。

この三年間、ひたむきに部活動に力を注ぎ、多くの人の声に素直に耳を傾け、ひとつひとつ吸収していったことが、全国大会に繋がりました。このひたむきさを武器に、また新たな目標に向けて歩みを進めてくれることを願っています。三年間お疲れさまでした。

全国大会を終えて

五組 上岡 みちる さん

まず初めに、今回は、たくさんの方々のおかげで、応援の言葉をいただき、本当にありがとうございました。

元来あがり症の私は、話し始める前までは緊張のあまり、飛び出しそうな心臓を抑えるのに必死でしたが、「アナウンス読み」で話し始める緊張が解けてきたのを感じ、「私にとってアナウンスは大好きで日常の一部なんだ」と、改めて感じました。

そうしていき迎えた大会当日の朝。目が覚めるとこのチャンネルも「東海道新幹線、運転見合わせ」「再開の目途立たず」の報道をしています。大会に向けた移動日は、新幹線の保守車両事故があった日でした。そんな中でも先生方が北陸周りで東京に向かう方法を模索してください、東京に着かない学校もある中で、立ちっぱなし八時間がかりでしたが、無事東京に到着することができました。

全国大会では、初めての舞台上に右往左往しながら、先輩や先生の全面的サポートのおかげで、アナウンスは準々決勝、ドキュメントは準決勝の場で聞いていただくことができました。帰りの新幹線の三時間は、快適スムーズな運転に感謝を込めて部員みんなで爆睡しながら帰ってきました。繰り返すようですが、私がこのような経験をさせてくれたおかげです。その温かさに感謝を忘れず、次の目標に向かってシフトチェンジしていきたいと思えます。



全国高校野球大会の司会

甲子園の硬式の全国高校野球選手権大会が終わると、軟式の全国大会が開かれます。

今年の軟式野球には、全国の地区代表16校が出場しました。八月二十五日(日)に明石球場で開会式が行われ、明石球場と姫路球場の二球場で六日間にわたって熱戦が繰り広げられました。

開会式では、29回生の上岡さんが、東播磨高校の生徒と一緒に司会を務めました。高校野球の大会歌である「栄冠は君に輝く」の曲が流れる中、昨年度の優勝校である中京高等学校を先頭に各校が入場行進をしました。それぞれの出場校の紹介や高野連会長の挨拶、兵庫教育長の歓迎の挨拶など、開会式は二人の司会によって進行しました。

高校野球には硬式と軟式の二つがありますが、全国大会の主催はどちらも高等学校野球連盟です。上岡さんが被っている白い表わら帽子は、甲子園でプラカードを持つ市立西宮高校の生徒と同じものです。

なお、決勝戦は八月三十日(金)に明石球場で行われました。中京高校が三連覇を果たし、宮城県の仙台商業高校が準優勝でした。決勝戦後に行われた閉会式でも上岡さんは司会を担当しました。

栄冠は君に輝く

五組 上岡 みちる さん

放送部のNHK杯兵庫大会は、全国大会への切符を賭けた戦い以外の側面を持っています。甲子園の開催である兵庫県の大会は、高校野球の開会式で司会を行う生徒の選抜にもなっていて、上位に入れば憧れの白い帽子を被って、球場でのアナウンスをすることができます。

今回、私は第69回全国高校軟式野球大会の開会式の司会を担当させていただきました。私には、選入手入場の際の行進曲で、高校野球の歌として76年前に作られた曲だそうなんです。マウンドを踏みしめ、キャプテンの掛け声に合わせて行進する球児の皆さんを目の当たりにし、歌詞にもある「一球に一打にかけて」これら三年間の努力を称えることができるよう、当日は言葉に強さや熱さを込めてアナウンスをしてきました。

栄冠が光り輝く春を目指して、私もさらに邁進したいと、決意を新たにしました。



今後の行事予定(3年生関連)

9月			
2日(月)	大掃除	LHR	
6日(金)	6限 推薦型選抜説明会	共通テスト出願説明会	
7日(土)	第1回共催マーク模試		
8日(日)			
12日(木)	除草作業(45分授業×6)		
14日(土)	特別推薦型選抜基礎学力調査		
15日(日)	オーストラリア留学生来日		
16日(月)	敬老の日		
23日(月)	振替休日(秋分の日)		
27日(金)	前期終業式		
28日(土)	全統マーク模試		
29日(日)			
30日(月)	秋季休業日		
10月			
1日(火)	後期始業式		
2日(水)	体育大会予行	午後全統模試(理・地)	
3日(木)	体育大会		
4日(金)	体育大会予備日		
6日(日)	全統記述模試		
8日(火)	各種委員会		
12日(土)	第2回共催記述模試		
14日(月)	祝日(スポーツの日)		
15日(火)	第3回定期考査初日		
18日(金)			
	寮大掃除、寮生集会		
20日(日)	香川・岡山オープン模試		